

令和7年度  
事業計画

社会福祉法人 東桜会

《社会福祉法人東桜会の理念等》

〔法人の目的〕

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として事業を行います。

〔施設運営理念〕

法人の目的を達成するため、公平で公正な開かれた施設運営を永续し、地域の拠点施設となるように努めるとともに地域福祉の向上に資するよう努めます。

〔施設運営方針〕

利用者の多様なニーズに応えられる職員を育成し、利用者が、生きがいを持ち明るく快適な生活ができる住環境の整備に努めます。

〔サービス提供理念〕

利用者一人ひとりのニーズと意思を尊重した質の高いサービスを提供し、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、利用者の自立を目指し、利用者と共に生き、利用者の回復を目指します。

〔サービス提供方針〕

サービスの利用を希望する人たちが、利用者自らが受けられるサービスを選択し決定できる環境を作るとともに、利用者の残存能力を発見し、引き出し、活用ができるような環境を作ることに努めます。

## 《社会福祉法人東桜会》

### 〔1〕基本方針

1. 法人・施設の中・長期計画の策定に取り掛かる。
2. 法人の理念、施設運営方針等について再確認し、表現方法等を検討する。
3. 働きやすい職場環境を目指し、職員の採用、定着に努める。
4. 地域に存する社会福祉法人として、地域の様々な団体組織・人々と連携して地域に貢献する。

### 〔2〕経営施設及び事業の種類

1. 指定を受けた介護保険事業（介護予防・日常生活支援総合事業を含む）を経営する
  - (1) 介護老人福祉施設 麻機園
  - (2) 短期入所生活介護事業 麻機園
  - (3) 地域密着型通所介護事業 麻機園デイサービスセンター
  - (4) 訪問介護事業 麻機園ヘルパーステーション ※事業休止中
  - (5) 居宅介護支援事業 麻機園ケアプランサービス
2. 社会福祉事業として次の事業を行う
  - (1) 軽費老人ホーム ケアハウス桜花
3. 静岡市から委託を受けて次の事業を行う
  - (1) 要支援、要介護認定の訪問調査（麻機園ケアプランサービス）
  - (2) 静岡市高齢者一時保護施設確保事業（短期入所麻機園）
4. 地域包括支援センターから委託を受けて次の事業を行う
  - (1) 介護予防ケアマネジメント業務

### 〔3〕地域社会に貢献する取組み・地域交流等

地域連携担当職員を配置し、法人が地域社会に貢献する取組みの業務を担わせる。新型コロナウイルス感染症に充分留意し、施設を開放した地域住民へのサービスや、地域の団体組織・人々と連携して地域に貢献し、福祉の向上を目指す。また、地域の民生委員や地区社協、放課後こども教室実行委員会等と連携するなどして、地域住民と子どもたちの活動の機会が持てるようにサポートする。

### 〔4〕監事監査、理事会、評議員会等の開催予定

- |              |     |                           |
|--------------|-----|---------------------------|
| ①監事監査        | 5月  | 令和6年度事務事業及び決算の審査          |
| ②第1回理事会      | 5月  | 令和6年度事業報告、決算及び定時評議員会の予定他  |
| ③評議員選任・解任委員会 | 6月  | 令和7年度からの評議員の選任            |
| ④定時評議員会      | 6月  | 令和6年度事業報告、決算認定、理事の選任      |
| ⑤第2回理事会      | 6月  | 理事長、副理事長の互選               |
| ⑥監事定期監査      | 10月 | 令和7年度定期監査                 |
| ⑦第2回理事会      | 11月 | 事務事業の報告等、令和7年度補正予算        |
| ⑧第1回臨時評議員会   | 11月 | 令和7年度補正予算承認 ※補正予算がある場合    |
| ⑨第3回理事会      | 3月  | 令和7年度補正予算及び令和8年度事業計画及び予算他 |

⑩第2回臨時評議員会 3月 令和7年度補正予算及び令和8年度事業計画及び予算承認他  
※予算又は事業計画等に係る議題のあるときには、臨時に理事会、評議員会を開催する。

〔5〕建物・設備の修繕・改修等の予定

麻機園及びケアハウス桜花の建物本体及び付属設備、設備・備品等の経年劣化の著しい箇所について大規模な修繕又は改修等を計画・予定するとともに、職員の業務軽減に資する設備・用具等の導入を検討する。

1. 特別養護老人ホーム麻機園

- ①業務の効率化・業務負担の軽減化の為、利用者見守り機器・ICTの導入
- ②空調設備更新修繕等
- ③電話設備更新

2. ケアハウス桜花

- ①建物周囲地盤沈下への対応（正面玄関解消、および埋設配管の修繕）
- ②電気・水道使用量等集中監視装置更新
- ③自動火災報知設備更新
- ④各居室および施設共有部照明器具の更新（LED照明）

〔6〕施設職員関係の会議・委員会・研修

1. 定期的に会議を開催する

(1)全体会議・委員会

- ①職員会議（第3火） ②部門連絡会（第2水） ③在宅利用連絡会（第3火） ④感染症対策委員会（6、9、12、3月） ⑤身体拘束廃止委員会（5、8、11、2月） ⑥虐待防止委員会（5、11月） ⑦事故防止委員会（6、9、12、3月） ⑧生産性向上委員会 ⑨研修委員会 ⑩広報委員会 ⑪厚生委員会

(2)麻機園

- ①優先入所検討委員会 ②介護職会議（第4火） ③給食会議（第2水） ④衛生委員会（第2水） ⑤褥瘡予防委員会（4、6、8、10、12、2月） ⑥食事委員会（毎月） ⑦排泄委員会（毎月） ⑧入浴委員会（毎月） ⑨事故検討委員会（毎月） ⑩行事担当者会議（毎月） ⑪リーダー会議 ⑫パート会議

(3)桜花

- ①桜花会議（毎月） ②給食会議（毎月）

2. 職員研修（年間を通してWeb研修利用）

- ①接遇 ②倫理・法令 ③感染症・食中毒予防 ④身体拘束排除・高齢者虐待防止 ⑤業務継続計画（自然災害） ⑥事故発生再発防止 ⑦介護予防・要介護度進行防止 ⑧ハラスメント防止 ⑨プライバシー保護 ⑩業務継続計画（感染症） ⑪緊急時対応

3. 各種訓練

- ①感染症及び食中毒予防訓練（5、10月） ②業務継続計画（BCP）訓練（年2回） ③土砂災害警戒区域内避難確保訓練（年2回） ④非常災害対策（消防防災）訓練（毎月）

## 《特別養護老人ホーム麻機園》

### 〔1〕基本方針

1. 利用者ご家族の要望に的確に応えられるよう、各職種間の連携を密にする。
2. 利用者への生活援助者としてふさわしい職員になるよう資質の向上に務める。
3. 導入した介護記録システムに習熟し、情報共有等の効率化を図る。
4. 介護保険制度の定める条件を遵守して事業を行う。

### 〔2〕運営

1. 入所率を98%以上に保ち安定した運営を行う。

### 〔3〕利用者処遇

#### <相談業務>

#### 1. 相談員及び介護支援専門員

- (目標1) 入所者と家族が安心して過ごせるように努める。
- (目標2) 職員研修を行う。

#### <機能訓練>

- (目標1) 入所者の残存機能の維持・向上を目指し、安全な生活が送れるよう訓練する。
- (目標2) 楽しんで生活してもらえるように援助する。

#### <栄養・給食>

- (目標1) 安全で満足感を味わえるような食事を提供する。
- (目標2) 栄養管理を徹底する。
- (目標3) 災害時の給食体制を検討する。
- (目標4) 原材料高騰の為、厨房と連携し、予算内に収まるよう努める。

#### <看護>

- (目標1) 入所者の健康維持するため、感染予防を意識した看護援助をおこなう。
- (目標2) 個人に応じた自然な看取り看護をおこなう。

### 〔4〕防災対策・感染症対策

1. 土砂災害や水害等に対する備えを充実するために、自然災害に対する職員の防災知識を向上させると共に定期的に訓練を行う。避難方法、必要な設備・備品等の整備を行う。
2. 地震、火災時に備え、職員の防災に対する知識を向上させると共に、定期的に訓練を行う。設備の使用法の修得、避難誘導技術の向上を目指す。
3. BCPに沿った訓練および研修の実施
4. 新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報を収集するとともに、職員の感染症対策に対する知識を向上させる研修・実習を行い、感染症対策用品や備品設備を整備する。

5. 感染症に関連する通知や制度の変更に関する情報の収集に努め、施設事業の経営に反映する。

## 《ケアハウス桜花》

### 〔1〕基本方針

安心して楽しく生きがいのある生活が送れるよう支援する。

### 〔2〕運営

（目標1）安定した入居率の運営、年間入居率95%以上を目指す

（目標2）高齢者の特性に配慮した環境を整備する。

（目標3）相談機能の充実

### 〔3〕入居者処遇

#### <援助>

（目標1）健康で可能な限り自立した生活の場づくりをめざす。

（目標2）残存機能の維持と余暇活動の援助を行う。

#### <給食>

（目標1）楽しみながら安全で喜びのあるそして満足していただける食事を提供する。

（目標2）健康維持できるよう、多職種との連携を図り食生活の充実を図る。

（目標3）災害時の給食体制を強化する。

### 〔4〕防災対策

1. BCPに沿った訓練および研修の実施
2. 地震、火災など災害に備え、職員の防災知識、技術の向上をめざす。
3. 入居者向けに土砂災害など風水害の危険を周知する防災教育を行う。
4. 公助、共助をめざし消防、地域、隣接施設等との協力体制を築いていく。
5. 年2回、夜間発生の大規模地震および火災を想定した避難訓練を実施する。
6. 備蓄品（非常用食品、防災用物品など）の確認・必要物品を購入する。

### 〔5〕感染症対策

1. 施設内の消毒、換気など感染症予防を徹底する。
2. 入居者に毎朝の体温を報告してもらい発熱、体調変化に留意する。
3. 研修等で感染症対策に対する知識を高めるよう努める。

### 〔6〕施設設備

適切な建物・設備等の保守及び修繕を行い、安全で住みよい環境を整える。

→正面玄関の段差解消、自動火災報知設備の更新

## 《在宅サービス》

### 〔1〕 麻機園ショートステイ

（目標1）稼働率70%を目指す。

（目標2）新規利用時は多くの情報を収集し、また、本人、家族の意向、身体状況について他職種との情報を共有することにより、よいサービスが提供できるようにする。

（目標3）利用中の状態変化時等は、家族及びケアマネジャーに迅速かつ的確に情報の提供を行うことにより安心して利用できるようにする。

### 〔2〕 麻機園デイサービスセンター

（目標1）稼働率60%を目指す。

（目標2）感染予防を引き続き継続し、利用者が安心して利用できるようにする。

（目標3）こまめに他事業者を利用者の状況を伝え、新規利用につなげる。

（目標4）利用者に季節を感じてもらえるようなレクリエーションや、おやつ作りを提供する。

### 〔3〕 麻機園ケアプランサービス

（目標1）地域包括や民生委員と連携し、地域支援を行いながら困っている方の支援を行っていく。

（目標2）感染予防に努めながら医療や他職種との連携方法を密に行い、利用者が在宅生活を続けることができるよう努める。

（目標3）地域資源を活用しながら利用者の自立支援を図る。